

CRESCO 

2023年3月期 2Q 連結  
アナリスト向け決算説明会


2022年11月10日



# 1 決算のポイント



## ■ 組織および体制関連

- 4月1日付で「代表取締役会長」「代表取締役社長執行役員」の**2代表制に移行**するとともに、『CRESCO Group Ambition 2030』の策定を機に、**コーポレートロゴを変更**(創業以来初)。
- 適切な権限委譲による経営上の意思決定と施策実行の迅速化を目的として、**執行役員を本部長に据える組織改革**を実施。
- 『CRESCO Group Ambition 2030』実現のため、「経営戦略本部」を設置するとともに、グループシナジーの更なる発揮のため、「グループ統括本部」を設置し、**グループ間での営業案件の共有を推進**。
- 機動的経営の強化およびグループガバナンス向上のため、グループ役員会議の頻度を増やし、**グループ役員間の連携を強化**。
- グループの人材・経営資源の有効活用によるシナジー効果の更なる発揮を目的として、7月1日付で連結子会社3社(アルス、エヌシステム、ネクサス)を合併し、**「(株)クレスコ・ジェイキューブ**  **」として再編**。

## ■ 事業関連

- デジタルソリューションとしてのRPA強化
  - ・ 4月： UiPath社の認定リセラー「ゴールドパートナー」に認定。
  - ・ 5月： UiPathライセンス購入企業向けにe-Learningの提供を開始。
  - ・ 8月： サイバー攻撃の兆候を検知・分析し、その情報をもとに専門家による対策支援を提供する「マネージドセキュリティサービス for SIEM」の販売を開始。
- 事業の底上げとビジネス機会の創出を目的として、技術・品質・ビジネス変革に関する自己学習を奨励。また、複数名の当社社員が大学で教鞭をとる機会を創出し、人間中心経営を強力的に推進。
- 子会社「クレスコ・デジタルテクノロジーズ」が、同社のIoT機能を搭載した「ソーシャルトレシシステム」を他社と共同開発し、販売を開始。
- 子会社「クレスコ・イー・ソリューション」が、SAP S/4HANAへの移行サービス「MOA」をリニューアル。
- 事業効率の向上を目的に、事業所および開発拠点の移転等のオフィススペースの見直しを推進。

# 1 決算のポイント 1.2. 売上高・利益

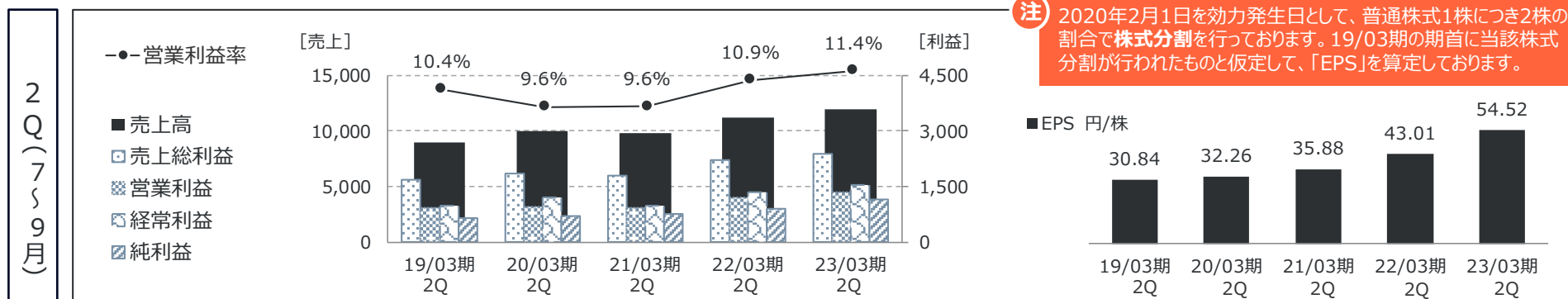
【注】（ ）内の数字は各々の利益率を表します。  
 【注】「純利益」は「親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益」です。

[単位：百万円未満切捨]

- 上期は生産性向上を目的としたIT投資需要が依然として旺盛で、売上は順調に推移し、売上高は 10.7%の二桁増収。
- 増収効果および不採算案件の極小化等により、営業利益は 11.3%の増益。営業利益率は 9.6% (前年同期9.6%)。
- 米国における株安の進行より、保有する金融商品に関してデリバティブ評価損(営業外費用)を 372百万円 計上し、経常利益は 4.8%の減益。

売上高	...	22億48百万円 ↑ (前年同期比 10.7% ↑)
営業利益	...	2億28百万円 ↑ (前年同期比 11.3% ↑)
経常利益	...	1億7百万円 ↓ (前年同期比 4.8% ↓)
純利益	...	1億39百万円 ↓ (前年同期比 8.6% ↓)

2Q累計	21/03期		22/03期		23/03期		前年同期比	対2Q累計達成率	2Q累計 業績予想	
									22/5/10 予想	前年同期比
売上高	19,203		21,061		<b>23,309</b>		<b>110.7%</b>	<b>102.1%</b>	22,840	108.4%
売上総利益	3,255	(17.0%)	4,071	(19.3%)	<b>4,531</b>	<b>(19.4%)</b>	<b>111.3%</b>			
営業利益	1,366	(7.1%)	2,017	(9.6%)	<b>2,245</b>	<b>(9.6%)</b>	<b>111.3%</b>	<b>107.4%</b>	2,090	(9.2%) 103.6%
経常利益	1,844	(9.6%)	2,223	(10.6%)	<b>2,116</b>	<b>(9.1%)</b>	<b>95.2%</b>	<b>90.4%</b>	2,340	(10.2%) 105.2%
純利益	1,308	(6.8%)	1,606	(7.6%)	<b>1,467</b>	<b>(6.3%)</b>	<b>91.4%</b>	<b>103.4%</b>	1,420	(6.2%) 88.4%
EPS 円/株	62.34		76.44		<b>69.76</b>				67.49	

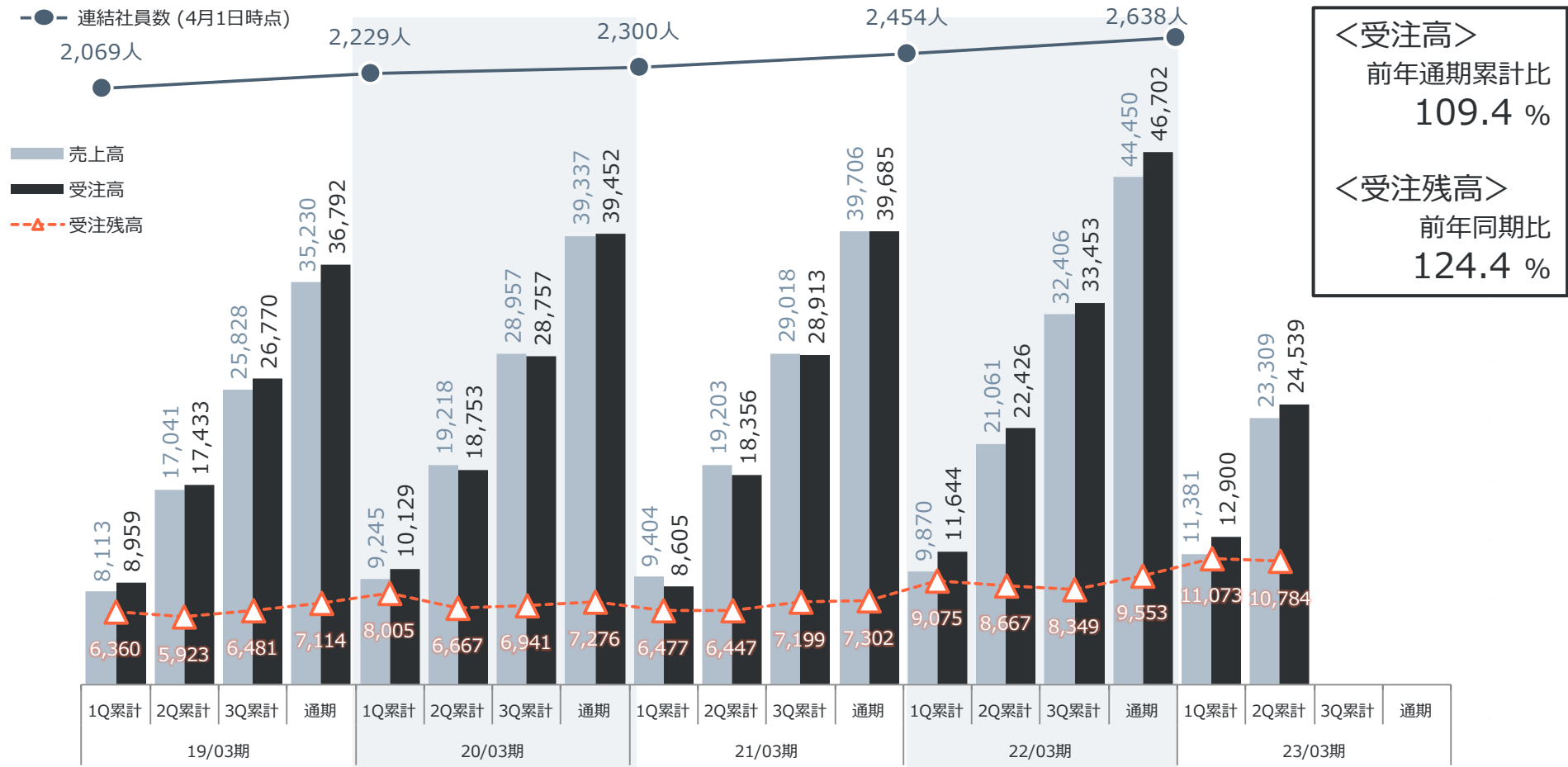




# 1.3. 受注高・受注残高

[単位：百万円未満切捨]

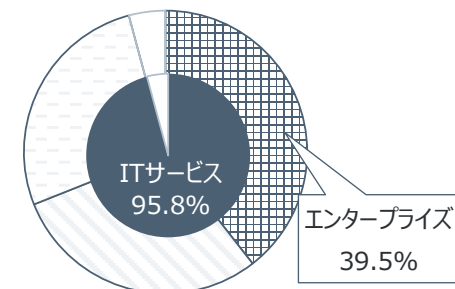
- 業種別に濃淡はあるものの、旺盛なIT投資需要を背景に、受注高と受注残高は順調に推移。
- 顧客企業における既存システムの刷新やDX推進が、受注を後押し。



# 1 決算のポイント 1.4. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：エンタープライズ]

セグメント		サブセグメント
ITサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサルティング</li> <li>・IT企画</li> <li>・開発・保守の総合サービス</li> </ul>	エンタープライズ 情報・通信、広告、流通サービス、運輸、 人材紹介・人材派遣、公共、資源・エネルギー、 建設・不動産、旅行・ホテル、医療・ヘルスケア、その他

<セグメント別の売上高比率:2Q(7~9月)>



■ **売上高：88億98百万円**（前年同期比 **0.6%** ↓）

- ・「流通サービス」「建設・不動産」分野で新規案件を獲得
- ・「人材紹介・人材派遣」「運輸」等の分野で大型案件の収束や一部不採算案件の発生に伴う営業機会のロスが発生

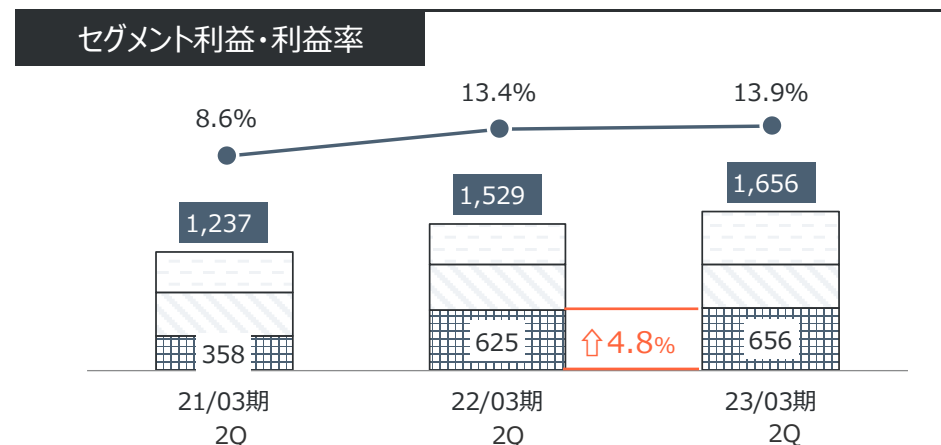
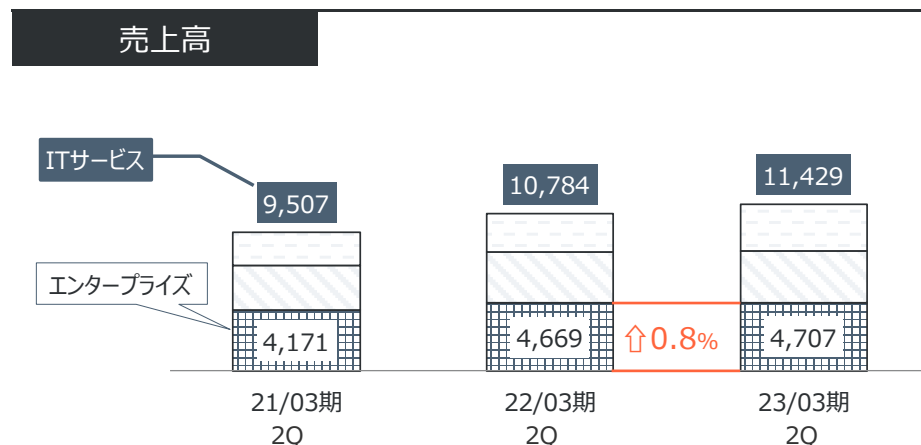
■ **セグメント利益／利益率：11億7百万円／12.4%**（前年同期比 **0.5%** ↓）

- ・売上高の減少と同様の理由

[単位：百万円未満切捨]

2  
Q  
累  
計

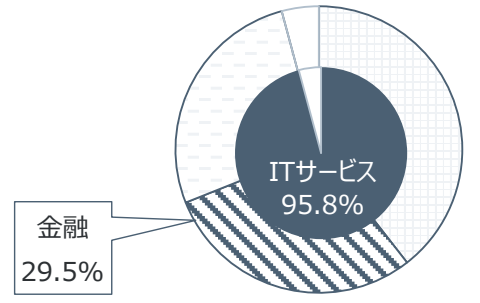
2  
Q  
(  
7  
~  
9  
月)



# 1 決算のポイント 1.5. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：金融]

セグメント		サブセグメント	
IT サービス	・コンサルティング	金融	銀行、保険、その他
	・IT企画		
	・開発・保守の総合サービス		

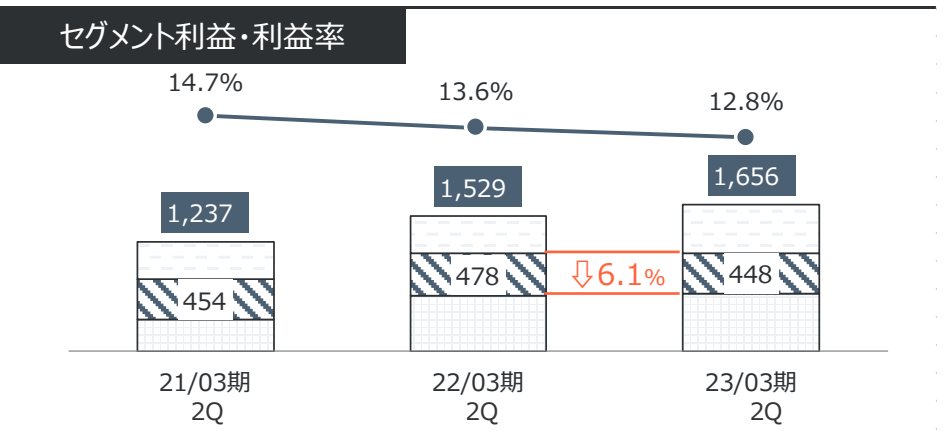
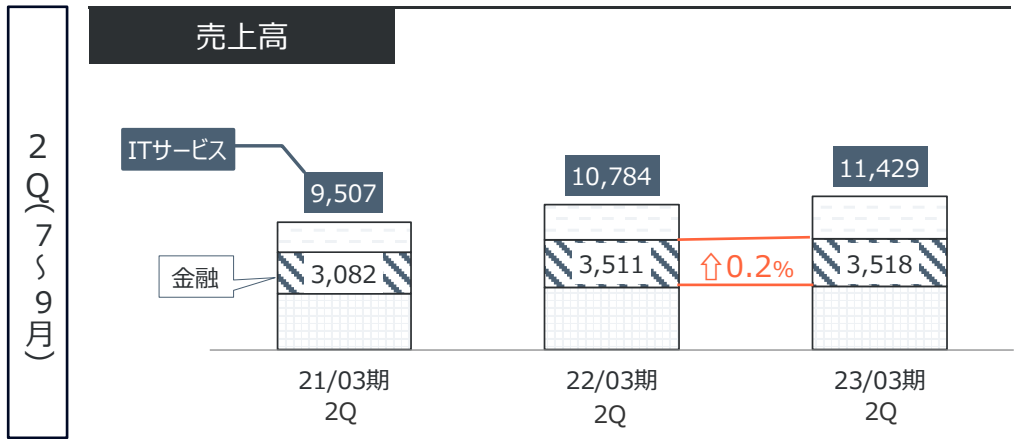
<セグメント別の売上高比率:2Q(7~9月)>



2Q累計

- **売上高：71億72百万円**（前年同期比 **9.9%** ↑）
  - ・ 当社の「銀行」「保険」分野で、基盤構築・移行案件が増加
  - ・ 連結子会社で、証券・カード等の「その他」分野の案件が増加
- **セグメント利益／利益率：8億64百万円／12.1%**（前年同期比 **4.9%** ↑）
  - ・ 売上高の増加と同様の理由

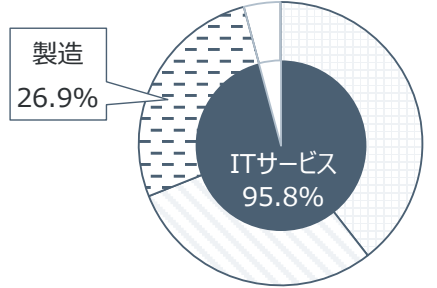
[単位：百万円未満切捨]



# 1 決算のポイント 1.6. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：製造]

セグメント		サブセグメント	
IT サービス	・コンサルティング ・IT企画 ・開発・保守の総合サービス	製造	自動車、輸送機器、機械、エレクトロニクス、その他

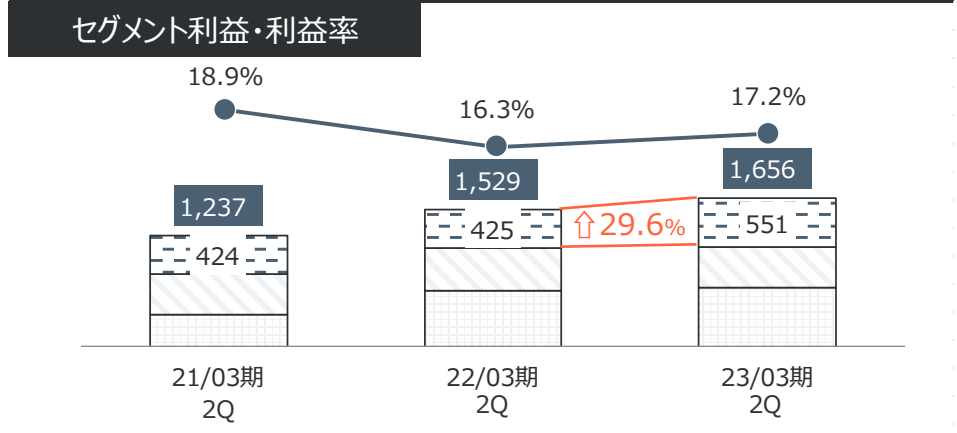
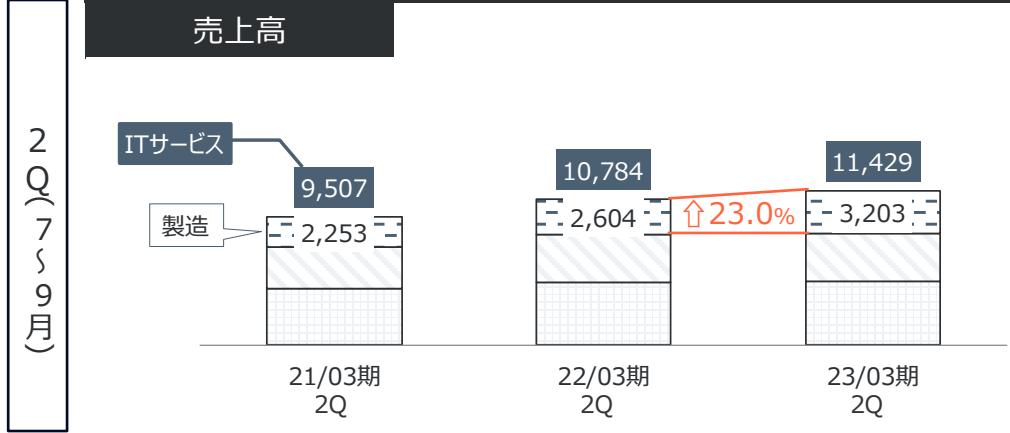
<セグメント別の売上高比率:2Q(7~9月)>



2  
Q  
累  
計

- **売上高：62億21百万円**（前年同期比 **29.7%** ↑）
  - ・当社と連結子会社の「機械・エレクトロニクス」「自動車・輸送機器」分野で、新規顧客からの受注や先行投資案件が増加
- **セグメント利益／利益率：9億90百万円／15.9%**（前年同期比 **36.0%** ↑）
  - ・売上高の増加と同様の理由

[単位：百万円未満切捨]



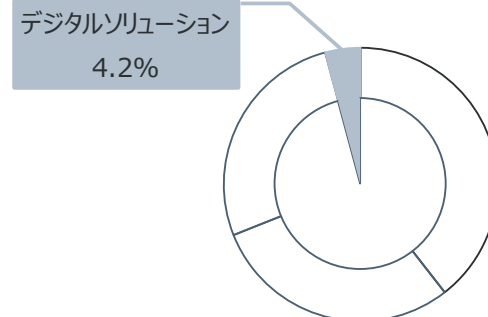
2  
Q  
(7  
~  
9  
月)



# 1.7. セグメント別売上高・利益 [デジタルソリューション事業]

セグメント	事業
デジタルソリューション	顧客のDX実現を支援する製品・サービスからなるソリューション群 <主な製品・サービス名> Creage : クラウド関連サービス    UiPath : RPA関連サービス アノテーション : AI関連サービス    教育・セミナー : AI、クラウド、RPAなど

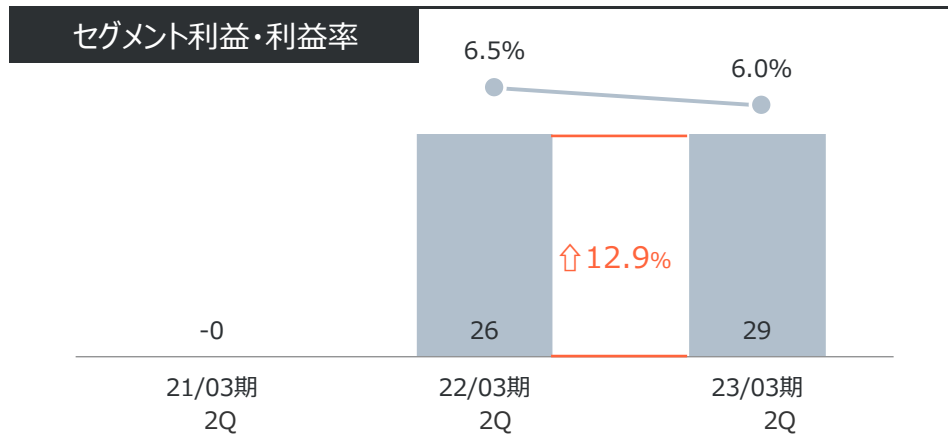
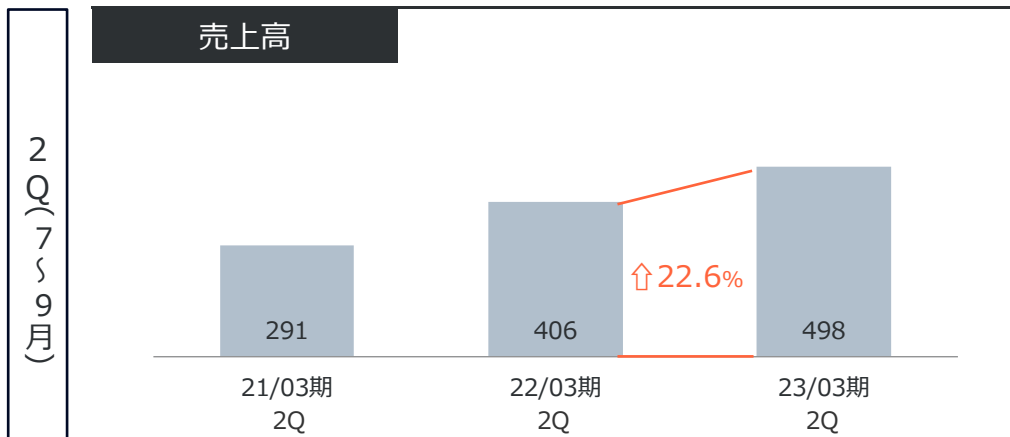
<セグメント別の売上高比率:2Q(7~9月)>



**2Q累計**

- **売上高 : 10億16百万円 (前年同期比 28.2% ↑)**
  - ・ 主クラウドサービスの「Creage」とRPAライセンスの販売が増加
- **セグメント利益/利益率 : 41百万円 / 4.1% (前年同期比 48.7% ↑)**
  - ・ 上記の売上高の増加と、連結子会社でライセンス製品の利益率が上昇

[単位 : 百万円未満切捨]



2Q(7~9月)



## 2 2023年3月期の見通し



先の見えないロシア・ウクライナ紛争、急速な円安は懸念材料だが、影響は限定的。  
顧客企業におけるIT投資需要は依然として旺盛。

- 新型コロナウイルス禍からの正常化が進む一方で、ロシア・ウクライナ紛争に端を発する資源・原材料・食料等の価格高騰と、労働力不足やインフレーション抑制のための日米欧の金融政策および財政政策の相違がもたらす急速な円安の進行が、家計消費と企業投資に極めて重大な影響を与えている。
- 当社企業グループの顧客企業の一部で、IT投資を厳選または延期あるいは規模を縮小する等の動きが認められるものの、既存システムの刷新やDX推進による生産性向上を目的としたIT投資需要は依然として旺盛。

【ご参考： 景気判断の調査等】

2022年10月 月例経済報告 [2022年10月25日発表]

「景気は、緩やかに持ち直している。」旨の判断。

先行きは、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあり、景気が持ち直していくことが期待される。

※ ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスク。

また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要あり。

2022年10月 ロイター業況判断調査 [2022年10月13日発表]

業況判断DI： 10月の製造業はプラス5と前月から5ポイント悪化した一方、非製造業はプラス15と4ポイント改善。

製造業は原燃料高などが収益圧迫し、2カ月連続の悪化。非製造業は物価上昇が消費者マインドに影響するも、改善傾向に。

2022年10月 Quick短観 [2022年10月11日発表]

業況判断DI： 10月の製造業はプラス8(11ポイント悪化)で、1年7カ月ぶり低水準。全産業はプラス15(4ポイント悪化)。

2022年9月 日銀短観 [2022年10月3日発表]

業況判断DI： 大企業・製造業は、資源高や円安を背景に、6月調査から1ポイント悪化のプラス8と三四半期連続の悪化。

大企業・非製造業は、新型コロナウイルス禍の好転により、1ポイント改善し、プラス14と二四半期連続の改善。

全規模・全産業設備投資計画は、2022年度+16.4%。ソフトウェア投資+17.8%。



[単位：百万円未満切捨]

- 2022年5月10日公表の通期の連結業績予想に**変更なし**。
- 今後の状況や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示。

通 期	22/03期						23/03期		
	22/2/28 予想	前年 同期比	実績	前年 同期比	達成率	22/5/10 予想	前年 同期比	2Q時点 進捗率	
	売上高	44,000	110.8%	44,450	111.9%	101.0%	<b>47,500</b>	<b>106.9%</b>	<b>49.1%</b>
売上総利益			8,698 (19.6%)	120.8%					
営業利益	4,440 (10.1%)	127.4%	4,457 (10.0%)	127.9%	100.4%	<b>4,750 (10.0%)</b>	<b>106.6%</b>	<b>47.3%</b>	
経常利益	4,600 (10.5%)	112.2%	4,782 (10.8%)	116.6%	104.0%	<b>5,150 (10.8%)</b>	<b>107.7%</b>	<b>41.1%</b>	
純利益	3,180 (7.2%)	120.7%	3,236 (7.3%)	122.9%	101.8%	<b>3,350 (7.1%)</b>	<b>103.5%</b>	<b>43.8%</b>	
EPS 円/株	151.14		153.92			<b>159.22</b>			

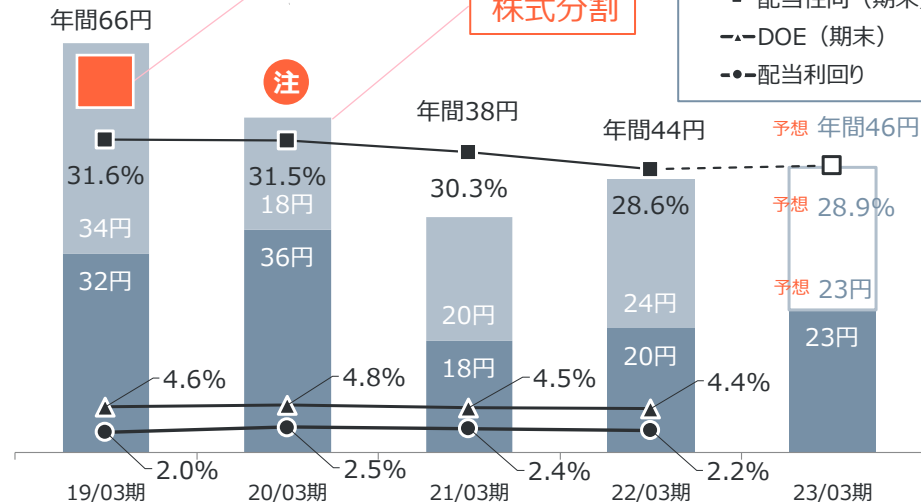
【注】（ ）内の数字は各々の利益率を表します。「純利益」は「親会社に帰属する当期純利益」です。

- 株主還元方針に則った配当を継続。
- 2022年5月10日公表の2023年3月期の配当予想に**変更なし**。

	21/03期	22/03期	23/03期		増減
	実績	実績	実績	22/5/10 予想	
中間	18円	20円	23円	<b>23円</b>	<b>3円</b>
期末	20円	24円	-	<b>23円</b>	<b>-1円</b>
年間	38円	44円	23円	<b>46円</b>	<b>2円</b>
配当性向	30.3%	28.6%	-	<b>28.9%</b>	<b>0.3%</b>
配当利回り	2.4%	2.2%	-	-	-
DOE	4.5%	4.4%	-	-	-
配当金の総額	798百万円	925百万円	-	-	-

創立30周年記念配当  
**10円**

株式分割



[配当金の総額：百万円未満切捨]

#### 株主還元方針

- ▶ 当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置づけており、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を維持することを基本方針としております。
- ▶ 特段の株主優待は行っておりません。
- ▶ 配当に関しましては、原則、**連結経常利益**をもとに、特別損益を零とした場合に算出される**親会社に帰属する当期純利益**の30%相当を目途に継続的に実現することを目指してまいります。

**注** 2020年2月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

- **19/03期中間～20/3期中間**は**分割前**の**実際の配当金の額**を記載しております。
- 20/03期の合計は、株式分割の実施により単純計算ができないため記載しておりません。



# ご参考

ご参考  1) 連結子会社の変遷

	2019年3月期				2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
クレスコ・イー・ソリューション	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
クレスコワイヤレス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アイオス <span style="color: red;">【※1】【※5】【※7】【※10】</span>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
クレスコ九州 <span style="color: red;">【※8】</span>	●	●	●	●	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
クレスコ北陸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
シーサー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
クレスコ・デジタルテクノロジーズ <span style="color: red;">【※13】</span>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
メクゼス <span style="color: red;">【※3】【※4】</span>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
エヌシステム <span style="color: red;">【※14】</span>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	/	/	/
ネクサス <span style="color: red;">【※2】【※14】</span>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	/	/	/
アルス <span style="color: red;">【※6】【※14】</span>	/	/	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	/	/	/
クレスコ・ジェイキューブ <span style="color: red;">【※14】</span>	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	●		
クレスコベトナム <span style="color: red;">【※9】</span>	/	/	/	/	/	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
エニシアス <span style="color: red;">【※11】</span>	/	/	/	/	/	/	/	/	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
OEC <span style="color: red;">【※12】</span>	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	●	●	●	●	●		
<b>子会社総数</b>	10	10	11	11	10	11	11	11	12	12	12	12	12	13	13	13	13	11		

【※1】 2017年10月2日付で「アイオス」は「(株)アプリケーションズ」を子会社化 (当社の孫会社)

【※2】 2018年1月12日付で「(株)ネクサス」を子会社化

【※3】 2018年3月12日付で「メディア・マジック」は「メクゼス」に商号変更

【※4】 2018年4月1日付で「メクゼス」は「アイオス 関西営業所」を統合

【※5】 2018年4月1日付で「アイオス」は「アプリケーションズ」を統合

【※6】 2018年10月1日付で「アルス(株)」を子会社化

【※7】 2018年11月1日付で「アイオス」は「イーテクノ(株)」を子会社化 (当社の孫会社)

【※8】 2019年4月1日付で「クレスコ九州」を統合

【※9】 2019年9月17日付で「CRESCO VIETNAM CO., LTD.(クレスコベトナム)」を設立  
(営業開始は2019年10月1日から)

【※10】 2019年10月1日付で「アイオス」は「イーテクノ」を統合

【※11】 2020年4月1日付で「(株)エニシアス」を子会社化

【※12】 2021年7月1日付で「(株)OEC」を子会社化

【※13】 2022年5月1日付で「クリエイティブジャパン」は「クレスコ・デジタルテクノロジーズ」に社名変更

【※14】 2022年7月1日付で「アルス」は「エヌシステム」「ネクサス」を統合

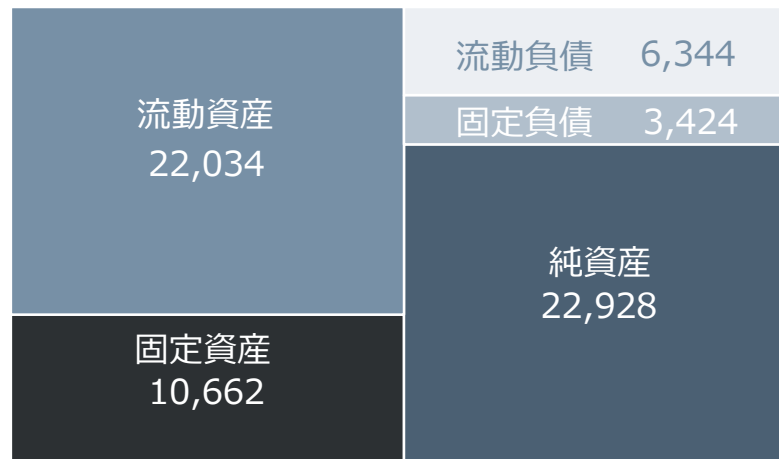
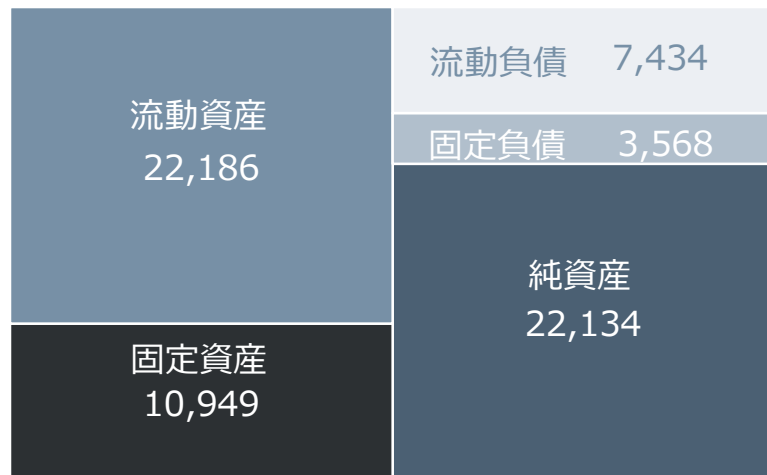
## ご参考 ※ 2) 資産・負債の状況

[単位：百万円未満切捨]

- 資産総額は、前連結会計年度末に比べて**4億39百万円減少**し、326億97百万円

22/03期期末

23/03期 2Q末



資産総額： 33,136

資産総額： 32,697

- ↓ 流動資産 前連結会計年度末比 1億52百万円減少  
 増加：電子記録債権…5億3百万円、前払費用…1億50百万円、仕掛品…1億6百万円、有価証券…93百万円  
 減少：受取手形、売掛金および契約資産…7億9百万円、現金および預金…3億5百万円
- ↓ 固定資産 前連結会計年度末比 2億87百万円減少  
 増加：有形固定資産…1億62百万円、繰延税金資産…1億59百万円  
 減少：投資有価証券…5億35百万円、のれん…1億5百万円
- ↓ 流動負債 前連結会計年度末比 10億89百万円減少  
 減少：未払法人税等…2億99百万円、未払金…2億6百万円、未払消費税等…1億61百万円、  
 賞与引当金…1億43百万円、1年内返済予定の長期借入金…1億41百万円、役員賞与引当金…96百万円
- ↓ 固定負債 前連結会計年度末比 1億44百万円減少  
 増加：退職給付に係る負債…1億2百万円  
 減少：長期借入金…2億45百万円
- ↑ 純資産 前連結会計年度末比 7億94百万円増加  
 増加：利益剰余金…9億62百万円  
 減少：その他有価証券評価差額金…2億4百万円



# ご参考 ※ 3) キャッシュフローの状況

[単位：百万円未満切捨]

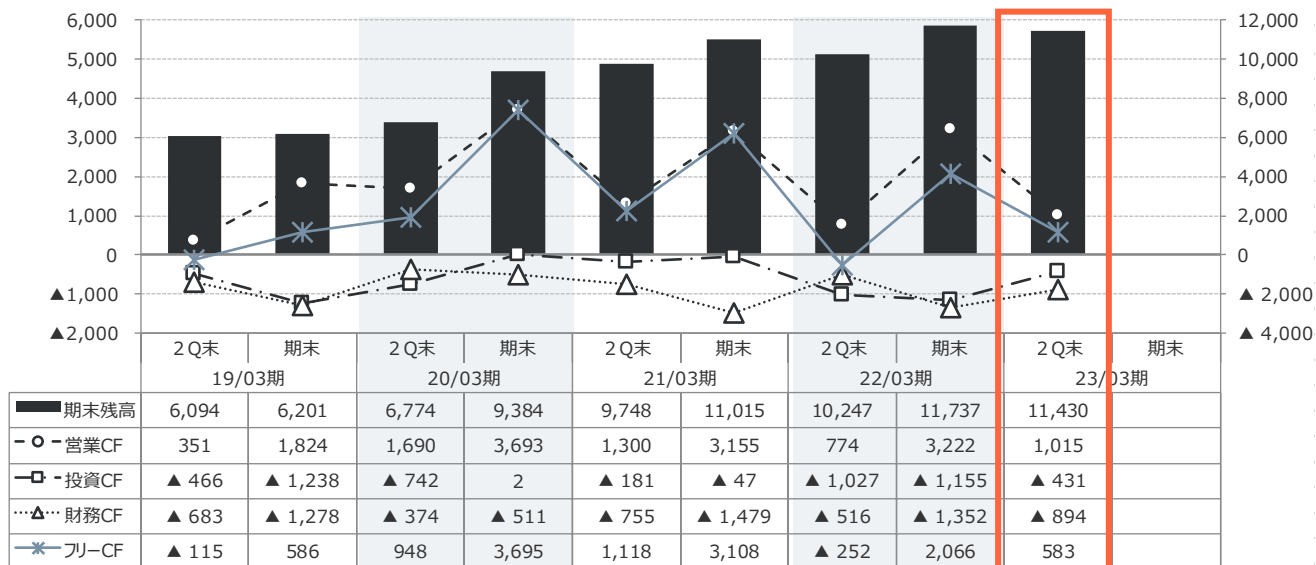
- 現金および現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べて**3億7百万円減少**し、114億30百万円

		21/03期		22/03期		23/03期	
		2Q末	期末	2Q末	期末	2Q末	期末
キャッシュ・フロー	営業活動	1,300	3,155	774	3,222	<b>1,015</b>	
	投資活動	▲ 181	▲ 47	▲ 1,027	▲ 1,155	<b>▲ 431</b>	
	財務活動	▲ 755	▲ 1,479	▲ 516	▲ 1,352	<b>▲ 894</b>	
フリー・キャッシュ・フロー		1,118	3,108	▲ 252	2,066	<b>583</b>	
キャッシュ・フロー増減		363	1,630	▲ 768	722	<b>▲ 307</b>	
現金および現金同等物の期末残高		9,748	11,015	10,247	11,737	<b>11,430</b>	

■ 営業CF	10億15百万円の収入
法人税等の支払額 …	9億22百万円
未払金の減少額 …	2億5百万円
未払消費税等の減少額 …	1億55百万円
税金等調整前四半期純利益 …	20億33百万円

■ 投資CF	4億31百万円の支出
投資有価証券の償還による収入 …	10億円
投資有価証券の取得による支出 …	11億74百万円
有形固定資産の取得 …	1億47百万円

■ 財務CF	8億94百万円の支出
配当金の支払い額 …	5億4百万円
長期借入金の返済による支出 …	3億87百万円



## ご参考 4) 経営ビジョンと中期経営計画の詳細URL



「経営ビジョン」の詳細  
<https://www.cresco.co.jp/corpinfo/vision/>

【注】 コーポレートロゴ変更に伴い、イメージ画像を変更しました。 内容に変更はありません。



「中期経営計画2023」の詳細  
<https://www.cresco.co.jp/ir/plan.html>



# 免責事項等

- ❖ 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。
- ❖ また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。
- ❖ なお、本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値や将来展望は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。
- ❖ 今後、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業況や業績結果と大きく乖離するなど、本資料の内容と異なる可能性もございます。予めご了承ください。

【 IRのお問合せ】  
広報部 Mail : [ir@cresco.co.jp](mailto:ir@cresco.co.jp)  
TEL : 03-5769-8058